

政策分析シート（平成19年度）

政策名	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	政策No	15	部名	総務企画部	
関連部名	管理部・区民生活部	部長名	三ツ木 晴雄	内線	2100	
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]				
目的	<p>目標の設定により成果を重視した戦略的な行政運営に取り組むとともに、行政改革の推進や事務事業の再点検により、財政の健全化に取り組み、安定的な財政運営を推進する。 また、さらに質の高い行政サービスを提供するため、人材育成に努める。</p>					
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移				
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)
	行政評価分析シートの公開率	100%	100%	100%	100%	100%
	経常収支比率	78.6%	75.9%	75.5%		75.0%
	区民税徴収率（現年課税分）	96.68%	96.93%	96.88%		98.00%
	「荒川区で働いてことに誇りを持っている」職員の率		48.6%		53.0%	60.0%
現状と課題 （指標分析）	<p>これまで全庁をあげて行政改革の推進や事務事業の再点検・再構築に積極的に取り組み、見直しや改善を行ってきた。今後は、指標による目標値を定め、効果的に評価・見直し・改善することが求められている。</p> <p>財政面では、17、18年度予算と2年連続で財政調整基金の取崩し等の特別な財源対策をとらずに、収支均衡型の予算を編成することができた。今後も、さらに効率的な財政運営を行っていくとともに、税収の安定的な確保に向けて徴収率の向上を図り、滞納の整理についてさらに強化して取り組む必要がある。</p> <p>区で働くことに誇りを持ち、区活性化の原動力である高い意欲を持つ職員を創出し、持続的に向上させていくよう、より戦略的な人事政策を展開していく必要がある。</p>					
今後の方向性	<p>[平成19年度]</p> <p>新たな基本構想を策定することにより、区の将来像と区が今後目指すべき方向性を明確にするとともに、行政評価システムを活用した事務事業等の見直しを進めていく。 安定的かつ継続的な区民サービスを提供し、将来見込まれる行政需要に適切に対応していくため、収支均衡型の予算を目指し、基金及び起債については、中長期的な視点に立った計画的な運用を行っていく。また、税収の確保については、納税意識の向上と納税しやすい環境作りのためのさまざまな取り組みを一層進めていく。 職員の職務意欲の向上を図ると共に、執務体制の強化を図っていく。荒川区職員ビジネスカレッジを職員育成機関として位置づけ、その組織・内容を充実させていく。</p> <p>[平成20年度以降]</p> <p>行政評価システム及び刷新プラン等により、区民サービスに的確に対応した行政サービスを提供する簡素で効率的な区政運営を実現する。 景気に左右されにくい強固で弾力的な財政基盤の構築を図っていく。 職務意欲の向上と人材育成を目指した新たな人事考課制度を確立するとともに、荒川区職員ビジネスカレッジを公的な組織としたことを受け、その内容についてさらなる充実を図る。 情報システムについては、今後とも低コストで使いやすい環境の整備と機能の充実を図り、業務効率の向上に努める。</p>					

政策分析シート（平成19年度）

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	前年度 設定	今年度 設定	
戦略的な政策形成と行政改革の推進 [15-01]	A	A	常に政策・施策・事務事業の見直し・改善を行い、区民ニーズに対応した行政サービスの提供する。
効率的な財政運営[15-02]	A	A	引き続き簡素で効率的な財政運営と中長期的な視点に立った計画的な運用を行う。
税収の安定的な確保[15-03]	A	A	自主財源の確保のため、最大限努力する。
総合的な人事制度の確立[15-04]	A	A	効率的で、実効性の高い組織体制の確立は、今後の区政推進の基盤として重要である。
職員研修等の充実[15-05]	A	A	活力ある少数精鋭の組織としていくためには、その構成員たる一人ひとりの職員の能力向上が必要である。
総合的な情報システムの確立[15-06]	B	B	区民の利便性の向上や業務の効率化、また職員の職務執行能力の向上のために必要であり、優先度は高い。
区有財産の適正な管理・保全[15-07]	B	C	経済的かつ効果的に利用されるよう、維持管理していく。